

報道機関 各位

2020年8月28日  
愛知中小企業家同友会  
専務理事 内輪 博之

## 安倍内閣総理大臣の辞任表明に寄せて（専務理事談話）

8月28日、安倍内閣総理大臣より辞任する意向が表明されました。2012年に再就任以来、戦後最長の連続在任期間、日数となる長期政権が幕を降ろすこととなります。今回の辞任意向においても、第一次政権時と同様に体調問題が大きな要因の一つとなっていることから、まずは健康回復に努めて頂きたいと思えます。いずれにしても、在任期間中に取り組んだ経済・社会・政治・外交等、数多くの課題への政策対応に関する評価は、後の世代に委ねられることとなります。

現下の国内状況は、新型コロナウイルス感染症、ならびにその拡大にともなう経済状況の大規模な落ち込みという未曾有の災禍の真ただ中にあります。国外においても同様に、現在そして将来的にも不透明・不確実さがかつてないほど広がっているなか、続く政権にはより困難な課題が残されることになるでしょう。一刻の猶予も許されないなか、速やかな新政権発足とともに、間断のない且つ既成概念に囚われない大胆な政策対応がなされることを要請します。

国内外経済の大規模な落ち込みにより、中小企業の経営は危機的状況に直面しています。そのようななかであっても、中小企業経営者は社員とその家族を守るために懸命の努力を続けています。しかし新型コロナウイルス感染症と経済の停滞は不可避であり、見通しは極めて厳しい状況です。ここでもし中小企業が倒れれば、終息後の経済回復は不可能です。企業を存続させ、雇用と国民の生活を守るためには、絶え間なく中小企業支援を打ち出すとともに、雇用を守る企業の後押しに全力を挙げることが徹底的に求められます。

経済の根幹は人々の生活であり、それを支えているのは圧倒的多数を占め、各地域に根を張る中小企業です。奇しくも本年6月18日は「中小企業憲章」の制定から10年を迎えました。そこでは「中小企業は、経済を牽引する力であり、社会の主役である。・・・(中略)・・・そして、どんな問題も中小企業の立場で考えて行く」(前文)と述べられています。現下の困難を中小企業が飛躍し、そして新たな時代を築く契機とすべく、続く新政権には国民の暮らし、そしてそれを守ろうと奮闘する中小企業に深く思いを致し、人間が人間らしく生きることのできる国づくりに奮励努力されることを切望するものです。

・・

愛知中小企業家同友会とは

現在、愛知県下約4,200名の中小企業経営者が参加する異業種の経営者団体です。

「経営体質の強化」「経営者の資質の向上」「経営環境の改善」を目的に、国民生活に寄り添い、地域の経済・社会の担い手たる中小企業をめざした取り組みを進めています。

1. 名称 愛知中小企業家同友会
2. 会員数 4,177名(2020年8月28日現在)
3. 会長 加藤 明彦(かとう あきひこ) エイベックス(株)代表取締役会長
4. 事務局 名古屋市中区錦3-6-29 サウスハウス2階  
電話 052-971-2671 FAX 052-971-5406  
事務局長 多田 直之  
報道担当(事務局次長) 八田 剛、政策担当(事務局次長) 池内 秀樹